

令和8年7月28日

各報道機関文教担当記者 様

研究成果を“眠らせない”大学へ オープンサイエンス実装を議論するセミナーを開催

ー A I，電子ラボノート，研究データを活用し，学術知を地域に還流する仕組みを探るー

金沢大学は，7月29日，30日，国立情報学研究所（NII）と共同で，「第7回北陸地区学術データ基盤セミナー」を開催します。

研究論文や研究データを公開し，社会で再利用可能にする「オープンサイエンス」への対応が大学に求められる中，本セミナーでは，「学術知を地域へ還流させるオープンサイエンスの実装」をテーマに，原著論文，機関リポジトリ，研究データ，電子ラボノート，メタデータをつなぐ学術データ基盤のあり方を議論します。

29日の公開セミナーでは，Springer Nature，国立情報学研究所，鹿児島大学，新潟大学，金沢大学の登壇者が，A I時代の研究成果発信，研究データ管理・公開，電子ラボノートの活用などの最新動向と実践事例を紹介します。30日は，北陸地区の大学などによるワークショップを行い，研究成果を地域や社会へ届けるための実務課題を共有します。

については，本セミナーの事前および当日の取材・報道をよろしくお願いします。

■第7回北陸地区学術データ基盤セミナー

日 時：7月29日（水）14時00分～17時30分（会場・オンラインのハイブリット）
7月30日（木）10時15分～12時30分（会場のみ）

会 場：ITビジネスプラザ武蔵（金沢市武蔵町14-31）

内 容：（29日）招待講演，事業紹介，パネルディスカッション
（30日）大学等による実務ワークショップ

参加費：無料

詳 細：北陸研究データ基盤コンソーシアムWebサイト
(<https://dri.w3.kanazawa-u.ac.jp/consortium/events/>)

取材を希望される場合は，事前に以下の問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問合せ先】

北陸研究データ基盤コンソーシアム事務局

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 長井

TEL：076-264-6106または080-2051-5539

E-mail：rdm-hokuriku@ml.kanazawa-u.ac.jp